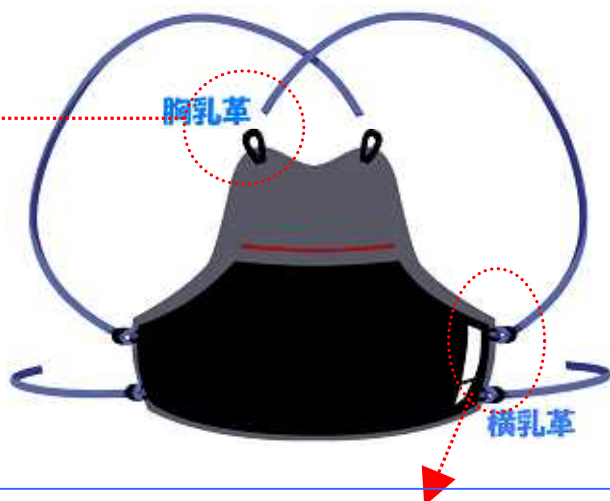


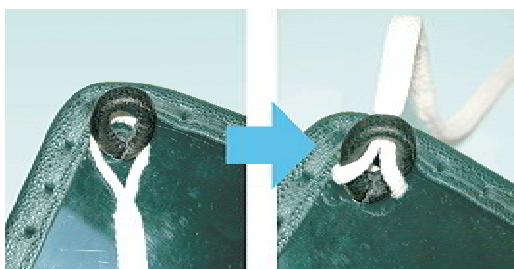
胴の付け方(着装)



胴紐は左図のようにつながます。

長い紐は上側の横乳革より胸元の乳革へ、短い紐は下側の横乳革につなぎ、背中側で結びます。
垂の前帯の中間くらいに、胴の下部分が来るくらいの高さに調節しましょう。
背中側を結ぶ時は、きつく絞って結ぶのではなく、少し余裕を持たせて結びます。

胴紐の取り付け方

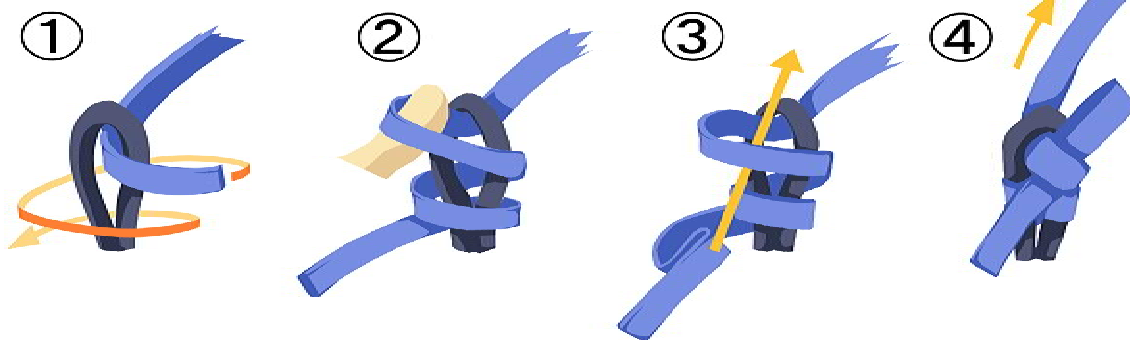


胴紐の輪を、胴横乳革にひっかけます。
内側から外側へ向けて、胴横乳革をくぐらせて、しっかりと引っばって下さい。
4箇所とも、同じように取り付けます。

胴紐の結び方

胴紐を胸乳革に結ぶ時は、下図のように取り付けます。
胴紐の結び方にはいくつも種類があり、その地域、道場によっても違いますのでこの結び方は1つの例としての、一般的なものとなります。

正面から見た場合（右肩側）



まず胴紐を後ろから逆側の肩に回し、そのまま胴胸乳革の輪を通します。
胸の**内側方向**に**2周**、胸乳革を巻くような形で回します。
この時、図のように親指を入れてたるみを作っておきます。
胴紐を2周巻いたら、親指で作ったたるみの部分に胴紐を折ったまま通します。
その状態で肩側の胴紐を強く引っばり、形を整えて固定します。
左肩側の胴紐も左右対称になるように気をつけながら、同じように結びます。